

近江八幡市立 武佐こども園

日時：2016年10月11日（水）13:30-17:00

2016年10月26日（水）9:15-16:00

場所：近江八幡市西生来町 1193 番地

田んぼに囲まれた武佐こども園。短時部と長時部の子ども達と一緒に過ごしています。今回は近くの神社へ出かけてプログラムを行いました。

（対象：4歳児 計42名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

葉っぱカルタで遊ぼう！

まずは、いろんな種類の葉っぱを2枚ずつ拾いました。きれいに掃き清められている神社ですが、意外と葉っぱが見つかります。全部で18種類。それを使ってカルタ遊びをしました。

1枚ずつ葉っぱを出して、同じ葉っぱを見つけて「はい!」。最初は同じに見えていた葉っぱの違いが見えてきます。大きさ、色、ツヤ、厚さ、ギザギザ、長さ・太さ…葉っぱの違いに驚きました。



2チームに分かれて、カルタ遊びをします



みんなで探したら14種類も葉っぱがあったんだよ



こちらは18種類も見つかったよ～

森の運動会

秋の運動会で、玉入れやリレーを体験した子ども達。森でも運動会ができます。

まずは、木の実を集める玉入れ。森の中に落ちていたどんぐりやマツボックリ、スギ、ヒノキなどの実を森の木にぶら下げた袋に入れていきます。

次は、集めた木の実を布に載せて2人で運ぶリレーです。途中で木の実が落ちたら、また載せて、運動会ではボールを運んでいましたが、木の実を運ぶと楽しいっばいよ。

導入では、金の玉子が登場。中身を開けると、いろんな木の実。今日は木の実で遊ぶよ!



木の実を拾ってね。拾ったら、森の玉入れ袋に入れよう!赤い実もあったよ!

たくさん集めた木の実を運ぶよ。グループのみんなで「ワッショイ、ワッショイ」

木の実を布に載せて、「ヨーイドン!」リレーがスタート。布から落ちたら、また拾ってね。ボールより難しいけど、おもしろいよ



森のおでんづくり

まずは、森の枝を集めて家をつくろう！森には枝がいっぱい落ちてます。長いことや太いことや、曲がっていたり、枝分かれしていたり、枝の特徴に子どもたちは興奮。そして、円形の家や立体的な家が出来上がります。家が出来たなあと思ったら「アンドラ、インドラ、ウンドラ！」の呪文で家がお鍋になりました。お鍋で何を作ろうと考えて、枝や葉っぱでおでんをつくることになりました。葉っぱを枝に刺して、コンニャク、大根、玉子、ウィンナー、肉、ジャガイモなどをつくってパクパク。

お家をお鍋にする呪文は「アンドラ、インドラ、ウンドラ！」枝のお家が、なんと！お鍋に見えてきて、お腹が減ってきました。おでんをつくろうよ～



枝を集めて、まーるいお家を作ったよ。みんなが入れるかなあ。

枝を立てると、ほんのお家になってきた！中にも入れるかも

おでんを作ったよ。玉子、コンニャク、ジャガイモを刺して、お鍋に入れてグツグツグツ～

～道中も自然で遊ぼう～

園から森までに間に、クズがたくさん生えている畑がありました。

いつもは素通りしてしまいましたが、クズでひと遊び。ツルを引っ張って電車にしました。(縄跳びや綱引き、リース・・・いっぱい遊べる自然の材料です)



プログラムを終えてのふりかえりから

- ・今回木の枝で家を作るだけで、子ども達の目が輝いていることに気づいた。自園でも取り組んでいきたい。
- ・プログラムを立て、伝えたいねらいを考えて進めると、感じる力を持つ子ども達は次にやりたいことが湧いてくる。ねらいを持って散歩に出かけ、その積み重ねで子ども達が成長していくと思うので、実践していきたい。
- ・何気なく咲いている植物は、自然界で必死に生きていることに触れた。自分が意識を持って触れていくことが大事と思った。